

表1 石炭灰発生量

(単位:千トン)

年度		発生量			石炭 使用量
			利用量	埋立量	
2005年度	電気事業	8,334 [74.7]	7,899 (94.8)	435 (5.2)	78,092 {10.7}
	一般産業	2,818 [25.3]	2,774 (98.4)	44 (1.6)	22,257 {12.7}
	計	11,152 [100]	10,673 (95.7)	479 (4.3)	100,349 {11.1}
2006年度	電気事業	8,097 [73.8]	7,813 (96.5)	284 (3.5)	75,017 {10.8}
	一般産業	2,872 [26.2]	2,844 (99.0)	28 (1.0)	23,240 {12.4}
	計	10,969 [100]	10,657 (97.2)	312 (2.8)	98,257 {11.2}
2007年度	電気事業	8,802 [73.4]	8,479 (96.3)	323 (3.7)	79,813 {11.0}
	一般産業	3,192 [26.6]	3,146 (98.6)	46 (1.4)	25,290 {12.6}
	計	11,994 [100]	11,625 (96.9)	369 (3.1)	105,103 {11.4}

[]:灰発生割合 ():構成比率 { }:灰分率wt%

出所:(財)石炭エネルギーセンター 石炭灰全国実態調査報告書(2007年度実績)2009年1月

表2 石炭灰有効利用の分野別内訳

(単位:千トン)

	項目	電気事業		一般産業		計	
		利用量	%	利用量	%	利用量	%
2005年度	セメント分野	5,162	65.4	2,181	78.6	7,343	68.8
	土木分野	962	12.2	288	10.4	1,250	11.7
	建築分野	233	2.9	146	5.3	379	3.6
	農林・水産分野	145	1.8	130	4.7	275	2.6
	その他	1,397	17.7	29	1.0	1,426	13.4
	計	7,899	100.0	2,774	100.0	10,673	100.0
2006年度	セメント分野	5,028	64.4	2,243	78.9	7,271	68.2
	土木分野	1,110	14.2	299	10.5	1,409	13.2
	建築分野	256	3.3	139	4.9	395	3.7
	農林・水産分野	60	0.8	101	3.6	161	1.5
	その他	1,359	17.4	62	2.2	1,421	13.3
	計	7,813	100.0	2,844	100.0	10,657	100.0
2007年度	セメント分野	5,182	61.1	2,499	79.4	7,681	66.1
	土木分野	1,298	15.3	337	10.7	1,635	14.1
	建築分野	260	3.1	155	4.9	415	3.6
	農林・水産分野	57	0.7	97	3.1	154	1.3
	その他	1,682	19.8	58	1.8	1,740	15.0
	計	8,479	100.0	3,146	100.0	11,625	100.0

出所:(財)石炭エネルギーセンター 石炭灰全国実態調査報告書(2007年度実績)2009年1月